

## (集団研修2) キャンドルセレモニー

### 1 ねらい

キャンドルのともしびを囲んで、友情を深め、新たな希望を生み出す。

### 2 所要時間 90～120分

### 3 経費 無料 ※体育館等の使用料が掛かります

### 4 プログラム立案の留意点

第1部は「過去のともしび」、第2部は「現在のともしび」、第3部は「未来のともしび」と位置付けます。

第1部と第3部の儀式では、厳かな雰囲気の中で静かに自分や仲間の過去を振り返り、将来を考えます。第2部は現在の自分を取り巻くものに感謝し、友情を深める場です。親睦を深め、大いに楽しみましょう。

### 5 準備について

#### (1) 係分担(例)

- ・司会 1～2名 進行担当, 交代可
- ・火の神 1名 火の使者, 点火の言葉
- ・火の子 3～5名 班代表, 誓いの言葉
- ・夜話 1名 指導者等
- ・スタント (班ごと, 内容の重複を避ける)

- ・詩朗読 1名 詩の準備と朗読
- ・消点灯 1名 照明器具の操作
- ・準備 6～7名 使用物の準備・世話
- ・効果 1～2名 音楽やマイクの準備
- ・誓いの言葉 1名 代表者

#### (2) 準備物

##### ① 団地で準備するもの

- ・ローソク(大・小) 放送機器(アンプ・マイク) CDプレーヤー 懐中電灯
- ・ドラムコード

##### ② 自然の家で準備するもの

- ・団体用燭台 (4台…体育館1, 放送室3)
- ・個人用手持ち燭台 (放送室に保管しているもの150個程度, 火の神・火の子用25個)
- ・火の神・火の子の衣裳 (持参も可)
- ・ブルーシート (床の保護のために使用, 体育館器具庫に保管しているもの)

#### (3) 会場

- ・体育館(130名程度) ・第1研修室(30名程度) ・第3研修室(30名程度)

### 6 プログラム例 (団体の創意工夫で取捨選択し、プログラムを構成してください。)

部	進	行	係	内	容	備考
第1部	1	集	全	燭台を囲み、静かに起立する。		
		合	員	(照明を消す。)		
	2	歌	消	♪「遠き山に日は落ちて」を歌う。		歌
			点	(1番は歌で, 2番はハミングで)		
	3	火の神・火の子入場	全	ハミングが始まったら, 火の神は火の子を従えて入場する。		
4	点火の言葉	火	キャンドルを高く掲げて力強く述べる。			
過去	5	分	火	火の神はそれぞれ「何の火か」を説明して		
		火	の	火の子に分火する。		
	6	誓いの言葉	火	トーチを高く掲げて誓いの言葉を述べる。		
	7	全員点火	子	火の神・火の子から全員へ点火する。		
	8	詩の朗読	全	全員の心に印象づける。		
	9	黙	員	火をみつめ, やがてまぶたを閉じ, 過去を振り返る。		
10	歌	全	♪力強く重みのある歌を全員で歌う。「若者たち」などの曲。		歌	
		員	(終わったら火を消す。)			

部	進 行	係	内 容	備 考
第2部 現在	スタンツ (第2部終了を告げる)	消点灯 準備  全 員 全 班	(照明をつける。) (燭台を片隅に移動させる。) ◎演出を工夫して、全員が交流を楽しむ。 ・各班の演技を披露する。 ・歌やダンスやゲームをする。 (間を空けないよう気をつける)	小道具
第3部 未来	1 集 合 2 全員点火 3 歌 4 夜 話 5 黙 想 6 決意の言葉 7 歌 8 火の神・火の子退場 9 おわりの言葉	全 員 消点灯 全 員 全 員  指 導 者  全 員  代 表 員 全 員  火の神 火の子 進 行	燭台を囲み、静かに起立する。 (照明を消す。) 火の神・火の子から全員へ点火する。 ♪火を動かしながら、静かな歌を歌う。曲は「ふるさと」など。 締め括りにふさわしい、人生等を話題とした短い話をする。 火をみつめ、やがて黙想し、未来を思い、前途を誓う。 これからの前途について誓う。 ♪「今日の火はさようなら」など、終わりにふさわしい歌を歌う。 歌にあわせて入場と逆のコースで退場する。  感謝をこめて、終了を宣言する。	歌      歌

### ※「点火の言葉」例

今、私たちの目の前にあるともしびは、今から何万年も前に、私たちの祖先が残してくれたものです。人間の行く手を照らす、このともしび、心の中まで温かくする、このともしび。私たち人間は、この火を人間の幸せにばかり使ってきたでしょうか。

長い歴史の中には、私たちの仲間を裂き、ある時には、人々を不幸せにしてしまったこともありました。私たちは、火を人類の平和と発展のためにだけ使わなければなりません。一人一人の心の中に、また、自分のまわりの人々や、地域や、社会の中に、あたたかい明かりをともしていきましょう。

### ※「誓いの言葉」例

(例1)「友情の火」…私は、友情の火をいただきました。思いやりを忘れずいつまでも友達を大切にすることを誓います。

(例2)「感謝の火」…私は、感謝の火をいただきました。常に感謝の気持ちを忘れないことを誓います。

(例3)「健康の火」…私は、健康の火をいただきました。これからも、心身共に健康で有り続けることを誓います。

(例4)「努力の火」…私は、努力の火をいただきました。何事にも、常に努力を続けていくことを誓います。

◎「奉仕の火」「創造の火」「希望の火」「自由の火」「規律の火」等工夫をして下さい。

### ※「隊形と人の動き方」例

### 《火の移し方》

